

大舞台での活躍誓う

八学大強化指定部壮行会

八戸

水野眞佐夫学長（左）から認定書を受け取る強化指定部の代表者



八戸学院大（水野眞佐夫学長）は7日、同大で強化指定部の壮行会を行った。硬式野球や男女サッカー、バスケットボールなどの各部門が、運動と学業の両立や大舞台での活躍を誓った。

同大は2019年から「大学スポーツ協会（UNIVASA）」に青森県内で唯一加盟し、スポーツ強化に取り組んでいる。本年度は、アイスホッケー、スピードスケート、フィギュアスケートが統合したスケート部など12の運動部を強化指定部に、柔道部と女子ソフトボール部を「学長戦略指定部」に認定した。

選手や指導者約40人が出席した壮行会では、水野学長が認定書を各部の代表者に手渡し、「他の学生の手本となり、エネルギーを出し尽くしてほしい」と激励。部員を代表して、女子バスケットボール部の関口由佳主将が「強化指定部の選手としての誇りを持ち、部活動や勉学、地域貢献活動に精いっぱい打ち込むことを誓う」と決意の言葉を述べた。

スケート部のフィギュアスケート部門で唯一の部員となる1年の安保咲野さん（18）は取材に「インカレに出場し、良い成績を残せるよう頑張りたい」と意気込みを語った。

（福田駿）